



「日の出の森・支える会」は、東京都西多摩郡日の出町にある巨大な処分場が引き起こした環境汚染から、自分たちの生命・健康を守るとともに、ごみ問題の真の解決を願って立ち上がった地元住民運動を支援することを目的として、1994年に発足し

小平市中央公園グラウンドの人工芝化の見直しを求めて

日の出の森・支える会 会員（小平・環境の会 共同代表）深澤洋子

これまでも小平市には、人工芝には反対という「小平・環境の会」の考えを伝えてきてはいたのですが、市は、中央公園のサッカーフィールドだけでなく隣の多目的広場まで人工芝にするという事業者側の提案をそのまま受け入れてしまいました。

昨年末、市は南西部の100もの公園等の管理・整備・改修を一括して行う事業者を選定しました。市と事業者による今年2月の説明会で、初めてそうした計画の詳細が明らかになり、グラウンドの利用方法や人工芝化に関する質問や反対意見が多く出され紛糾しました。その後、再度の意見交換会の開催を求めて担当課と話し合う機会もありましたが、結論は変わりませんでした。背景には、長年サッカー協会など利用者から、人工芝化の強い要望が出されていることがあります。人工芝なら雨が降ってもすぐ使えるといった利便

性のためようです。しかし、私たちは人工芝には多くの問題があり、利用者の健康にも害があると考えています。何より、環境に配慮すべき自治体が、マイクロプラスチック（以下、MP）の最大の発生源とも言える人工芝をどんどん広げるというのはおかしくないでしょうか？ 少なくとも多目的広場については、市民が特に要望したわけではなく、子どもも遊べるスペースになるということなので、人工芝化はやめてほしいと思いました。

こうしたことを踏まえ、今年度はまだ計画段階であることから、急遽、小平市議会に請願を出すことになりました。環境の会のメンバーも入る「中央公園改修に市民の声を届ける会」として、6月12日に以下のことを求める請願を提出しました。

<請願事項>

1 中央公園グラウンド改修計画、特に市民の自由な利用の可能性、多目的エリアの人工芝化について、現段階の詳細な説明を行い、広く市民の意見を聞く機会を早急に設け、市民の意見を反映するよう努めてください。

2 中央公園グラウンドに導入予定の人工芝は、マイクロプラスチックの大きな発生源であり、環境や人体に有害な物質も含まれていることから、少なくとも多目的エリアについては人工芝ではなく、環境や人の健康に優しい天然芝や草地にすることを検討してください。

各会派を回って説明、話し合いを重ね、生活文教委員会でも、人工芝がMCの大きな発生源となり、排水溝フィルターではその4%しか捕捉できないこと、MCが人の体内からも見つかり健康被害の恐れがあることなどを説明しましたが、結局、委員会でも本会議でも自民、公明、立憲系の反対で否決されてしまいました。「具体的な健康被害のエビデンスがな

い」と言う議員もいましたが、予防原則という言葉を知らないのでしょうか？ 近年MCの有害性を示す研究が次々に出されています。今後、他の自治体でも人工芝化が進むかもしれません。小平・環境の会のHPに議会に提出した資料などがアップしてありますので、ぜひ参考にしていただければと思います。

【連絡先】〒190-0011 東京都立川市高松町 2-19-1
ホームページ : <http://hinodenomori.main.jp>

Tel/Fax 042-523-7297
E-mail : hinodenomori@tokyo.email.ne.jp

